

白楊

No. 247
H5.10.23
板橋区立
大山小学校



創立四十周年にあたって

校長

伴 二田力

大山小学校の創立四十周年を、私たち教職員は、学校教育に理解と協力をいただいています皆様と共に祝いたいと思います。

今、私たちはこの機会に学校の教育環境を見直し、利用できるものは大切に活用し、不備なものは改修し整えています。特に、昨年度から本年度にかけては、学校の施設・設備の充実に取り組んでいます。

まず、校舎と体育館の外壁の塗装をやり直しました。学校の周囲との調和を考慮して、明るく落ち着いた色合いを基調にしました。また、長年の雨漏りの悩みを解消するために、屋上の全面改修工事をしました。校舎内の床の板張りも進み、専科教室や職員室・校長室などの床が温か味を感じます。いたみの多い古い古い体育倉庫を解体し、体育館の裏に鉄筋のしっかりした倉庫を設置しました。体育館は、サッシの窓枠にし、暗幕も皆様の協力もあつて新品なものにしました。

なお、創立当時からある吉野桜やポプラのほかに、いろいろな種類の樹木や草花を植え学校の森をつくり、いっそう教育環境を整えました。南門の所の小川は人工であります。私たちの心をなごませてくれます。

いま大山小学校の外観は、新設の学校のように美しくなりました。しかし、内部の施設設備については、まだ改善・改修をしなければならぬところがあります。このことについては、これから区の行政の支援をいただき直していかなければなりません。学校としてやらなければならない教育の課題はまだ山積しています。なかでも大山小学校の教育のいっそうの充実です。大山小学校は創立当時から教育研究の熱心な学校で、板橋区では名門校でした。創立四十周年にあたって、それを引き継いでいる私たちも研究に力を尽くし、大山小学校の教育を発展させたいと思います。

とととやき

母校の思い出というのは妙になつかしい。特に小学校は六年間もいるのだし、無邪気でいられる子供時代だけに余計そうなるのかもしれない。そういえば中学校、高校の校歌など覚えていないのに、小学校の校歌はすぐ口に出る。木造校舎の前に階段式の円形ステージがあつて、そこで音楽朝会の伴奏をしたこと、体育倉庫の掃除の時、黄金バットごっこをして遊んだこと、その頃は図書館が校庭の隅にあつて、側の池に落ちた子がいたこと、思い出すと泣いたり笑ったり、とても変化のある毎日だったように思う。その中で何といても友達が存在が一番大きかった。先生や親に叱られるより、友達とケンカした時の方が心がふさいだ。きっと今の子供達も同じだと思う。大山小を思い出す時、必ず友達の顔が浮かんでくるような、そんな小学生時代を送ってほしいと思っている。

(衣)



その三、いろいろなお茶を毎日飲むこと。煎茶・抹茶入りげんまい茶・ウーロン茶・朴中茶等を用意し、その日の気分で飲むようにすること。

その四、毎日三十分位、ウォーキングを行うこと。犬のロンをつれて、大病院から大谷口小学校の周りを早足で歩くこと。その五、ストレスをためないように、ハーブの香りを楽しむこと。これが私の健康法です。

その二 カンを抑制する効果のある、ニンニク・タマネギ
ミカン類を毎日どれか一つでも食べるようにすること。

和が実行しているガン対策・その一は、緑黄色野菜をしっかりと食べること。特に、人参・トマト・カボチャ・ブロッコリー・グリーンアスパラ・ほうれん草を取ることを。

和たつたら、唯泣くだけで何もしゃべれないかもしれませ
ん。なぜなら、自分自身の弱い性格がわかつているし、ガン
にならないように人一倍気を使っているからです。

「私の病気は胃ガンです」のテレビ会見を見ていて、自分の病状を淡々としゃべれる性格の強さに驚きました。

て、立ち上がれないでいるかもしれません。今まで大きな病気をしたことがない分、病氣に対する気持ちの抵抗力がない

らよいのかと案じながら出かけたのですが、彼女はいつ行つても明るく、「私はこんなに元氣だから心配しないでね。」と私の方が勇氣づけられます。どうしてあんなに元氣でいら

私のまわりで、ガンの手術をした人が何人かおります。仲間の
その一人ですが、乳ガンの手術を一度で取りきれなくて続けて
二回も行いました。片胸を失い、どんな慰めの言葉をかけた

『にちなんで、テレビ・新聞等では『健康』をテーマに取り上げています。私も人生八十年の折り返し地点を通過した今、健康に何を成すべきかを考えながら、毎日を生きています。』

『おこられるから？
しかられるから？』

こども達とさけ「識なよっかで自 がクらの わりたろないお
 ともは思。迷騒だがくうてらは最 来ラ聞は教りま母うんた。客電車
 が「う」惑いかわ子思行るくわ、ぞ。えのでおんが？騒そのの
 必に「を。かでらわ子思行るくわ、ぞ。えのでおんが？騒そのの
 要育自 考。い、っどう動か、り子、廊る子自じ！「がのの中
 でて分子え公る電たも。すに大のど！「を鳴り達。静。か。に。お。と。し。な。ら。や。て。騒。ぎ。ど。も。が。他
 はるでどさせ、場ま中ではるが、大れえ、行て、動いる、と、
 なた考もせ、場ま中ではるが、大れえ、行て、動いる、と、
 いめえの、場ま中ではるが、大れえ、行て、動いる、と、
 だにてま教でのりの母か境？、た、顔る動いる、と、
 ろも、わえのりの母か境？、た、顔る動いる、と、
 うう行にベナ人親？、た、顔る動いる、と、
 か一動にベナ人親？、た、顔る動いる、と、
 ？度でいき、のど注 人のて色に、の、意はたよしの、
 見きる大ある切だも 人のて色に、の、意はたよしの、
 直る大ある切だも 人のて色に、の、意はたよしの、
 す子人ある切だも 人のて色に、の、意はたよしの、